

研究施設等の内部補強により、大地震発生時の倒壊を防ぐ (群馬県高崎市、茨城県那珂市)

国立研究開発法人
事業者：量子科学技術研究開発機構 (QST)

<耐震補強材（アングルブレース・ケーブルブレース）による補強>



<耐震補強材（アングルブレース）による補強>



※写真は高崎量子応用研究所（群馬県高崎市）

対策名：19 量子科学技術研究開発機構耐震改修対策



主たる施策グループ： 1-1) 大規模地震に伴う、住宅・建物・不特定多数が集まる施設等の複合的・大規模倒壊による多数の死傷者の発生 教育・文化等

事業名：研究施設等耐震改修

- ポイント**
- 研究施設等の内部補強を実施
 - 大震災発生時における倒壊などの大きな損傷を防ぎ、安全性及び研究活動の継続性を確保

地域の概要・課題

建築物の耐震改修の促進に関する法律に基づき、既存耐震不適格建築物のうち継続利用が必要とされた研究施設等の耐震改修を進めています。

国からの受託研究や企業との共同研究、国際プロジェクト等で使用しているQST（量子科学技術研究開発機構）の施設に関して、いくつかの施設が耐震基準に満たしていなかったため、耐震対策を実施しました。

事業の概要

耐震基準を満たしていない施設（コバルト60照射施設（高崎量子応用研究所）や第一工学試験棟（那珂研究所）等）にアングルブレース補強等により耐震改修工事を実施し、大地震に対する防災対策を実施しました。

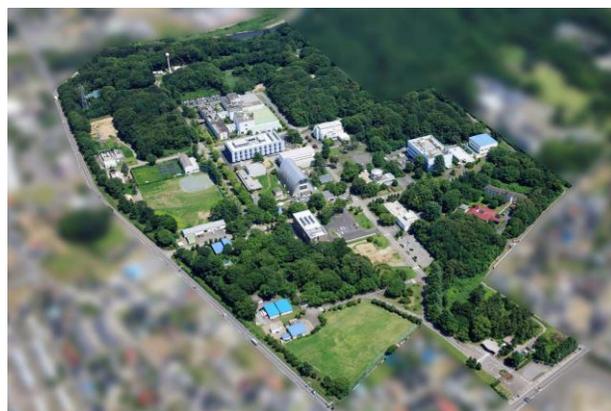
【耐震改修を実施した施設（コバルト60照射施設（右記写真））について】

国内唯一の複数の照射室を有した大型研究用ガンマ線照射施設。再生医療や環境浄化等に利用される高機能材料の創製研究等に加え、衛星用部品や廃炉用ロボット等の宇宙・原子力分野からも多数の民間企業・外部研究機関が利用している。

見込まれる効果

研究施設等における内部補強により、耐災害性が向上することで、地震発生時の建物被害及び人的被害を最小限にすることが見込まれます。

また、耐震改修による施設の安定稼働により国際プロジェクト等の着実な実施が見込まれます。



高崎量子応用研究所（群馬県高崎市）